

I 自然環境

1. 地形・地質

厚木市は、東は相模川、西側は大山山地と中津山地で囲まれており、西に高く、東にむかって低くなっている。地形的には西部の山地、中央の台地、東部の低地と三大別することができる。

西部の山地は、大山(1,251m)を主峰として三峯山(934m)などからなる大山山地と、牧馬煤ヶ谷構造線を境として経ヶ岳(633m)、華巖山(602m)などからなる中津山地および鳶尾山(235m)を含む鳶尾山地である。また、鳶尾山の南部や、高松山(147m)、津古久峠(145m)を含む標高200m以下の山地を丘陵地として、さらに区別することができる。

これら山地および丘陵地の表層地質は、おもに緑色凝灰岩(グリーンタフ)から成っている。しかし、鳶尾山地では砂岩と頁岩の互層から構成されている。丘陵地の地質は複雑で、北部の鳶尾山南部の丘陵地は、砂岩頁岩互層とローム層から成っている。高松山や津古久峠を含む丘陵地は、緑色凝灰岩やローム層から形成されている(Fig. 2)。

中央部の台地は、相模川の本支流によって形成された洪積層台地であるが、表面はいわゆる関東ローム層によって厚くおおわれている。厚木市の台地は、北からそれぞれ中津原、荻野原、尼寺原、長谷原、愛甲原と称されている。また、荻野原の内陸部には荻野盆地、飯山盆地が、尼寺原の山間部には古沢盆地、長谷原と愛甲原の奥部には七沢盆地が続いている(Fig. 3)。これらの各台地は立川、武蔵野、下末吉、多摩の各ローム層によっておおわれている。

東部の低地は、丹沢山地や中津山地などから流出した多量の泥土砂礫から成る沖積層で占められる。この低地をさらに細区分すると、自然堤性低地と三角州性低地に2大別することができる。自然堤性低地は、おもに相模川、中津川などの河川沿いみられ、礫層を主体としている。それに対して三角州性低地は、相模川の支流である小河川、小鮎川、思曽川、玉川などに沿って広がる低地帯でも泥層から形成されている。

また、台地部と低地部との境には、相模川、中津川および支流に沿って長く河岸段丘が発達しており、台地上層のローム層と低地部を構成する礫層の重層断面をみることができる。この河岸段丘は、厚木市の東部一帯を占める台地と低地帯の大きな地形的特徴としてあげることができる。

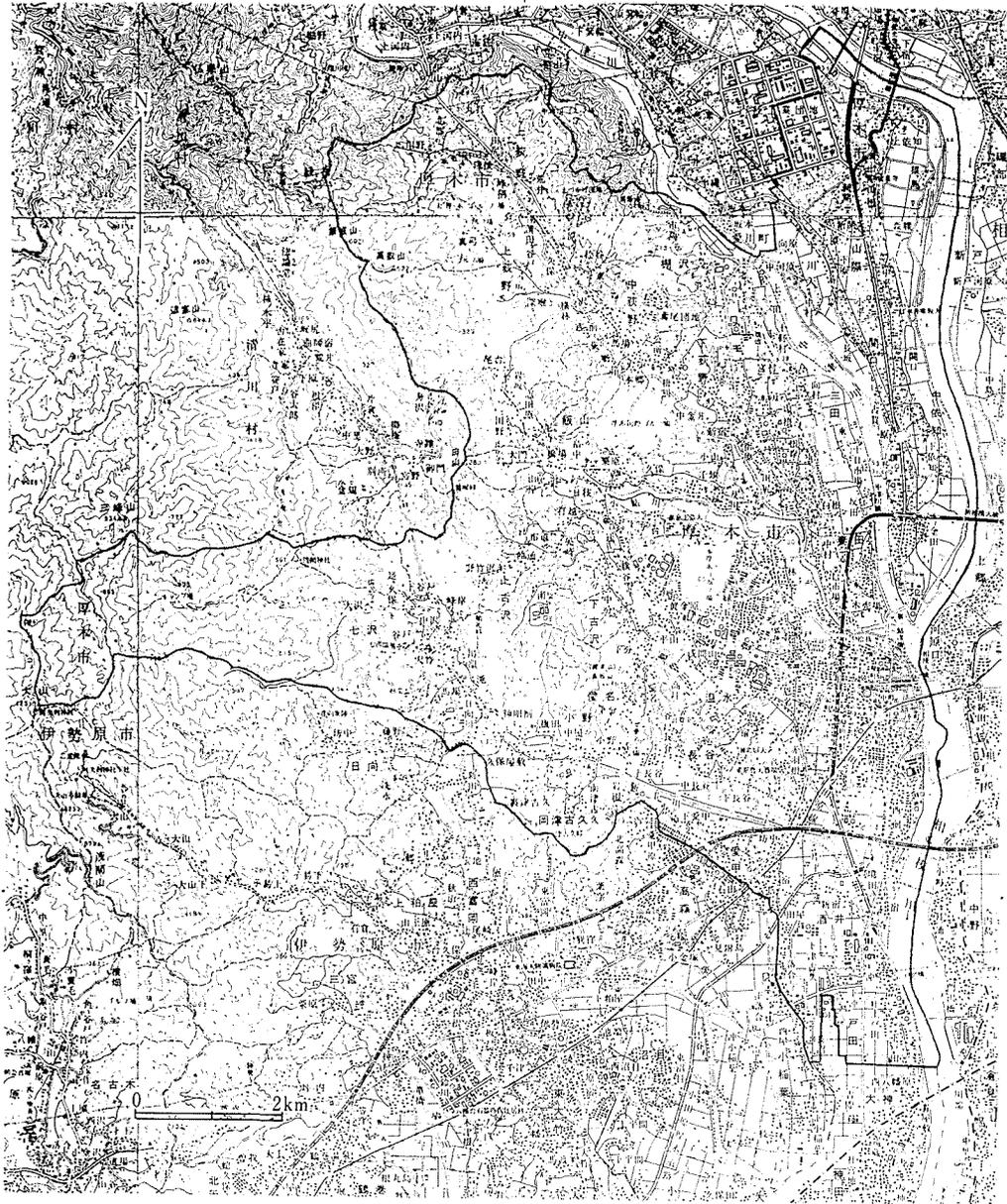
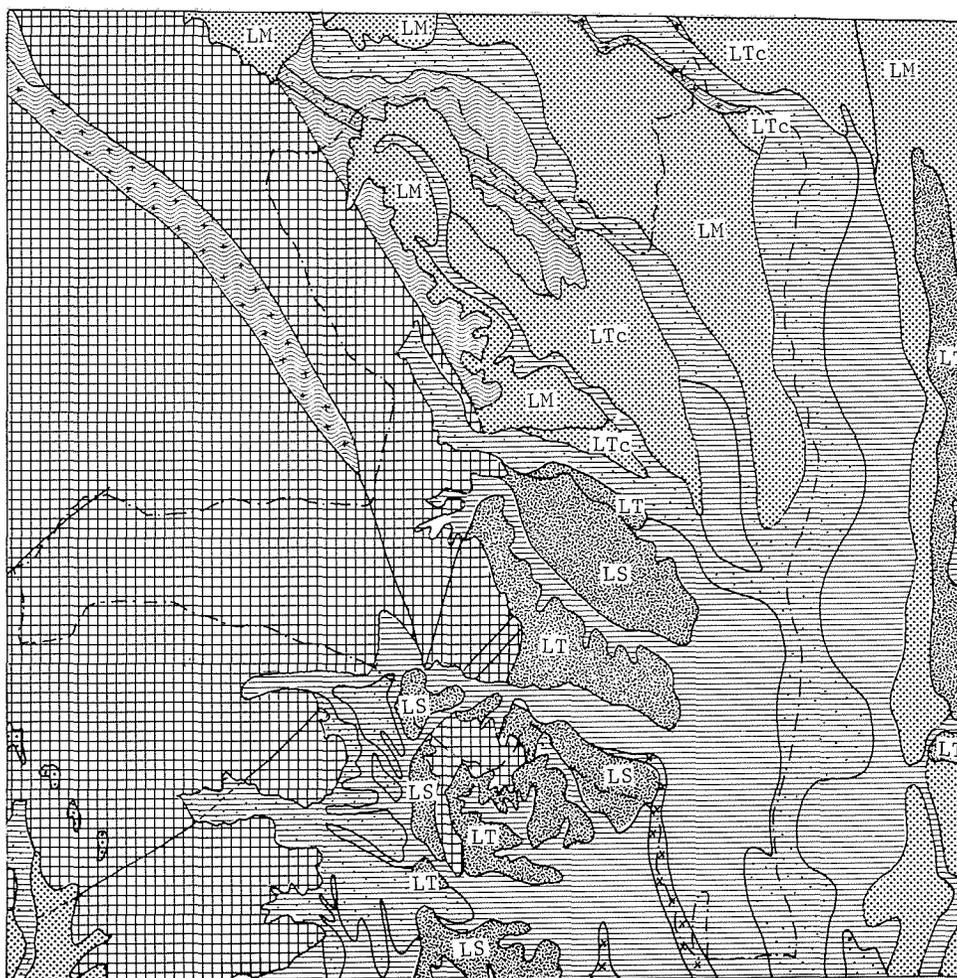


Fig. 1. 調査地, 厚木市全図 (国土地理院, 1/5万地形図より)
Gesamtareale der Stadt Atsugi (1 : 50 000).



- | | | | |
|--|--------|--|-----------|
| | 礫 砂 | | 砂岩・黒色頁岩互層 |
| | 砂 | | 泥 岩 |
| | 泥 | | 砂岩・泥岩互層 |
| | 立川ローム層 | | 緑色凝灰岩 |
| | 武蔵野ローム | | 玄武岩質岩石 |
| | 下末吉ローム | | |
| | 多摩ローム | | |

0 5 km

Fig. 2. 厚木市の地質図
Geologische Karte der Stadt Atsugi.

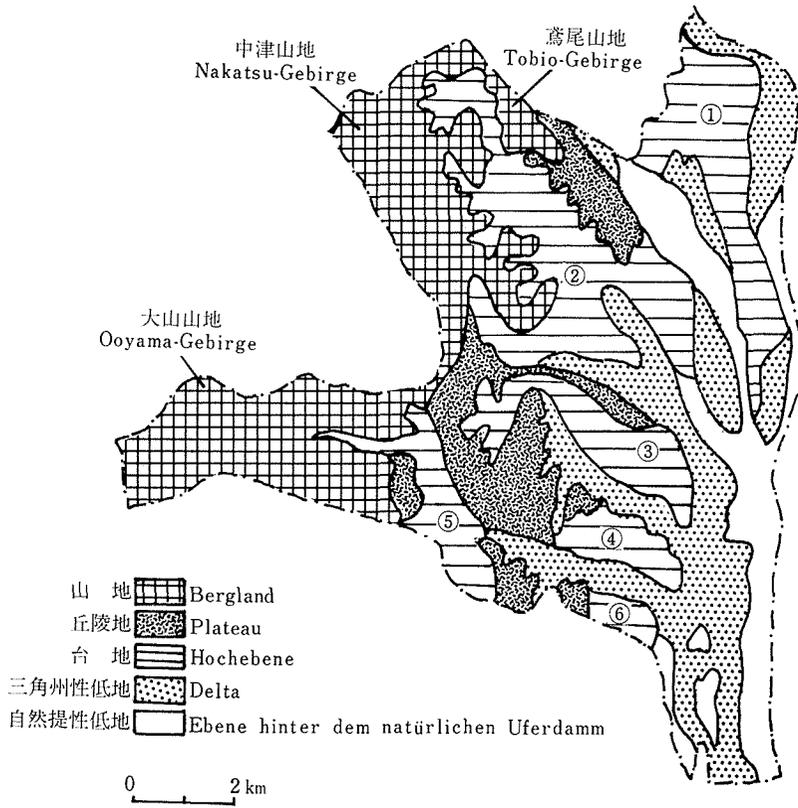


Fig. 3. 厚木市の地形分類図
 (国土庁土地局神奈川表層地質図より改変)
 Geomorphologische Gliederung der Stadt Atsugi.

2. 気 候

厚木市の気候は、神奈川県中央的位置として神奈川県を代表する性格を帯びている。すなわち、大平洋岸気候（表日本式気候）の関東平野型気候で、西隣りの東海気候に接しており、両者の漸移型である。季節風の影響が明瞭で、夏は暑くて多雨湿潤、冬は寒く寡雨乾燥である。また、相模湾によって海洋の緩和作用も受ける臨海性であるが、関東平野や中央山地の影響もおよぶ内陸性との双方の性格を合わせもっている。

神奈川県全体の気候区分でみると厚木地方は、内陸性気候区に属するが、山地と低地を合わせもつ厚木地方は、相模川沿いに相模湾からの海風の影響と、西部の丹沢山地の山岳型気候の双方の影響を受けている。

夏季8月の平均気温25℃に達し、東部の低地では26℃に近い。しかし、西部山地は24℃以下となり比較的涼しい。

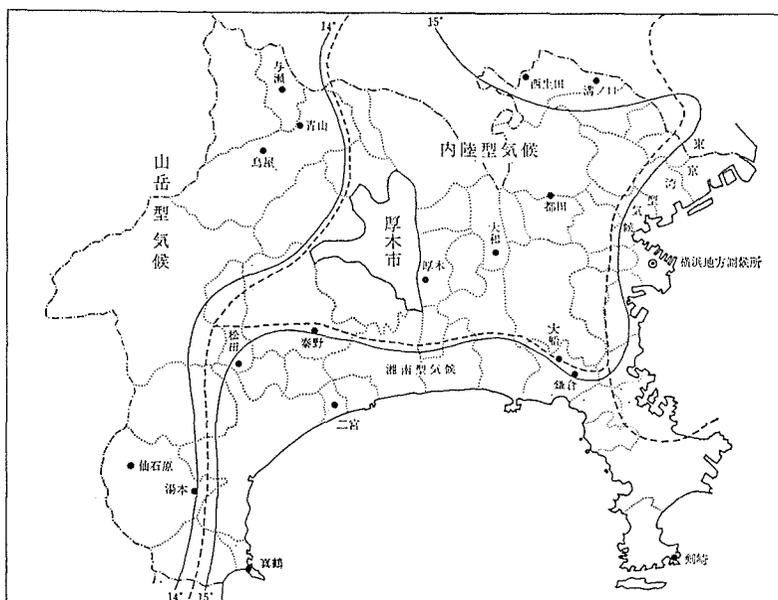


Fig. 4. 神奈川県の年平均気温と気候区

(横浜地方気象台編「神奈川県の気象」)

Jahresdurchschnitts-Isothermen der Präfektur Kanagawa.

In der Mitte liegt die Stadt Atsugi.

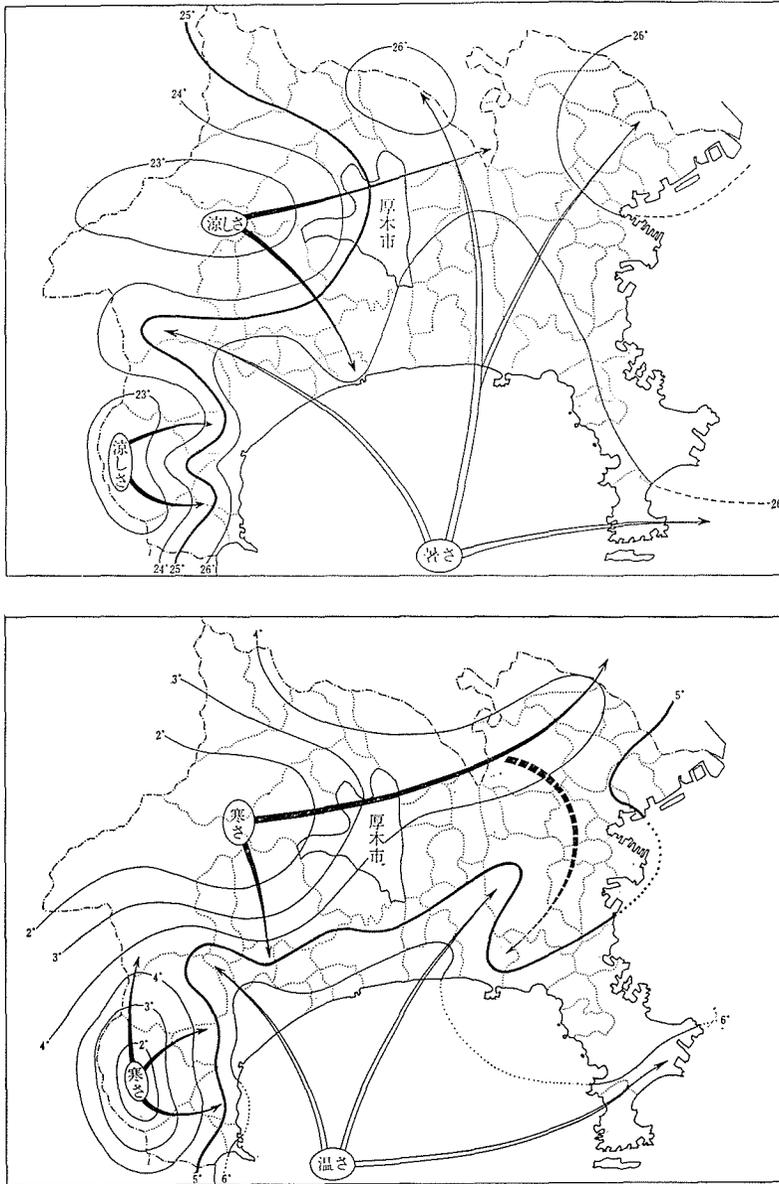


Fig. 5. 厚木市周辺の夏（8月）と冬（12月）の平均気温
（横浜地方気象台）

Sommer-Isotherme (Oben: Aug.) und Winter-Isotherme (Unten: Feb.)
in der Stadt Atsugi und ihrer Umgebung (nach Regionale Wetterstation
Yokohama).

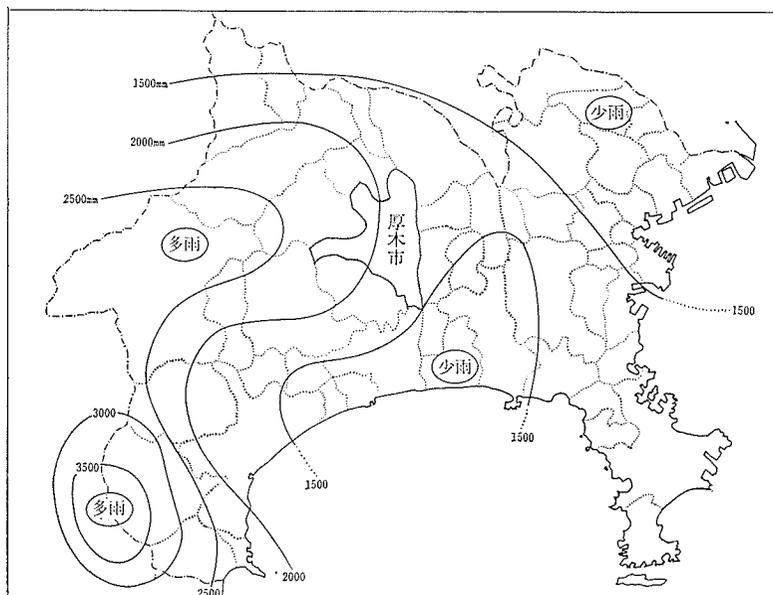


Fig. 6. 厚木市周辺の年雨量 (横浜気象台)
 Jahresniederschlag der Stadt Atsugi und ihrer Umgebung
 (nach Wetterwarte Yokohama)

Tab. 1. 厚木地区平均気温
 Durchschnitt Temperatur in Atsugi.

(厚木測候所 35°26'N. 139°23'E 標高17m) (Atsugi-Wetterwarte 17 m ü. NN)

月 Monat	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温 Mittel- Temperatur	3.8	4.7	7.7	13.3	17.9	21.1	24.8	26.5	22.6	16.6	12.0	6.2

1966—1970平均 (Durchschnitt der Jahre 1966—1970)

冬季の1～2月の平均気温は約4℃で、西の山地では3℃ぐらまで低下し、丹沢山地の影響が強いことがうかがえる。

すなわち、厚木地方では、夏は相模湾の気候的影響をより強く受け、冬は丹沢山地を中心とする山岳型の気候の影響を強く受けているといえる。これらの事実は Fig. 4, 5 の平均気温の等温線の曲りぐあいからもみることができる。

厚木市の降水量は、年間2,000 mm程度で、全国および神奈川県の前平均値よりやや多い。厚木市内でもとくに山地部で多く、年間2,000 mmをこえるが、台地部や低地部ではやや少なく1,500 mmから2,000 mm以下の値を示している。